



# ともそだち通信 はるのはじめ号 平成20年度

発行：日立市教育委員会生涯学習課 家庭教育サポーター  
問い合わせ先：サポーター専用電話 0294-23-9157

ともそだち・・・

親と子が共に育ちましょう  
親と親も共に育ちましょう  
サポーターも共に歩みます

## お腹に届くパパの声

パパ講座（下記）の講演の中で「お腹の中にいる子どもには、お父さんの低い声の方がよく聞こえている」というお話がありました。

その昔、長男が産まれた4日目に、夫が会社帰りに病院に寄りまして。「こんにちわ、たっくん！」と声をかけると、それまで一心不乱におっぱいを飲んでた長男が、首をのけざるようにして夫の顔を見つめたことを思い出しました。私のお腹の中で父親の声を聞き、覚えていたのでしょうか？それからずっと父子は仲良しです。

今ママのお腹に赤ちゃんがいるパパは、どうぞいっぱい話しかけてあげてくださいね。きっと、それが父子の愛着の絆の第一歩となることでしょう。

## パパのともそだち講座を開催 2月14日（土）



飛田隆先生（茨城キリスト教大学講師）

- 1部： 講演「お父さん、出番ですよ！」
- 2部： 親子あそび「パパも遊ぼう！」



飛田ゼミの学生の皆さん

お父さん対象のこの講座には、2、3歳児とお父さんが13組参加しました。アンケートによると、参加の理由は、家族に勧められたり内容に興味があったから。講演も親子遊びも、楽しく参考になったと好評でした。

「接することが大切だと改めて感じました」  
「実際に具体的に示していただけで理解しやすかった」  
「子どもと2人で触れ合えたので良かった」

などの感想があり、忙しいお父さんも家庭教育に関心が深いことがわかりました。



親子で遊ぶ参加者の皆さん

## 交流センターで会いましょう



今年度、家庭教育サポーターは、月2回ほど交流センターを訪問し、おもちゃライブラリーに来ているお母さんがたとお話ししたり、お子さんに手遊びや体操などの小さなお楽しみ会を催しました。

先日の久慈交流センターでは、子育てについて話し合うおしゃべりティータイムを開き、そのあとには親子で凧づくりをして外遊びをしました。

お近くの交流センターで、みなさんにお会いするのを楽しみにしています。

## ワンポイントアドバイス - 2歳は「私」になっていく -

2歳の時期は「反抗期」と言われていますが、「自立期」と考えたほうが良いでしょう。1歳までは母親と一心同体の状態ですが、2歳になると自分を主張し始めます。

特に2歳前半は自分が思っていることは、周りの人も同じように思っているかと捕らえるので、トラブルになりやすいものです。でもそういった成長の段階なのだと思えば、声のかけ方が違ってきます。たとえばお友だちを泣かせてしまったときも、頭ごなしに叱るのではなく、「○○ちゃんと遊びたかったんだね」と気持ちを受け止めてから注意することができます。

（飛田隆先生の講演より）

## おしゃべりテレフォン

子育てで困ったとき迷ったとき、サポーターとお話しませんか。

毎週 水曜日 午前9時～午後5時

0294-23-9157

